

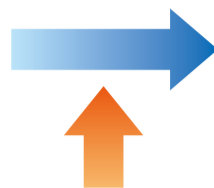
地域危険度マップ

地域危険度マップとは

大字ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、その割合と50mメッシュ単位の揺れやすさをもとに全壊すると予想される建物の割合を表示したものです。危険度の数値が大きくなるほど地域で被害を受ける建物の割合が大きくなります。

「地域危険度マップ」は、地震防災マップ作成技術資料(内閣府、平成17年3月)を参考にして、次の手順で作成しています。

揺れやすさマップ
 <地域の揺れやすさ>
 50mメッシュごとの揺れやすさ



地域危険度マップ
 <建物被害の危険度>
 50mメッシュごとの建物が全壊すると予想される割合

地域ごとに建築年代や構造を考慮した建物分布

地震による住宅など建物の損傷状況

準半壊に至らない(一部損壊)	準半壊	半壊
準半壊に至らない(一部損壊)の住宅の損壊で、補修を必要とする程度	住家が半壊又は半程度に準ずる程度の損傷を受けた状態で、経済的な損害の割合が10%以上20%未満	居住のための基本的な機能の一部を失った状態で、経済的な損害の割合が20%以上30%未満
中規模半壊	大規模半壊	全壊
相当規模の補修を行わなければ、住宅に居住することができない状態で、経済的な損害の割合が30%以上40%未満	大規模な補修を行わなければ、住宅に居住することができない状態で、経済的な損害の割合が40%以上50%未満	居住のための基本的な機能を失った状態。外壁や柱の傾斜が1/20以上、または経済的な損害の割合が50%以上。住宅の全体もしくは一部の階が全て倒壊

出典：内閣府 災害に係る住家の被害認定基準運用指針

凡例

	市役所・支所・出張所
	国道
	県道
	鉄道
	市町界

地域危険度凡例

危険度	危険度1	危険度2	危険度3	危険度4	危険度5	危険度6	危険度7
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	3%未満	3%以上5%未満	5%以上7%未満	7%以上10%未満	10%以上20%未満	20%以上30%未満	30%以上

